

平成25年度第2回奈良市環境基本計画推進会議 会議録	
開催日時	平成26年1月17日（金）午前9時30分から11時30分まで
開催場所	奈良市役所 北棟5階 第21会議室
議 題	1 平成25年度（平成24年度実績）評価の取りまとめ（案）について 2 「奈良市の環境」平成24年度版の発行について 3 今後の予定について
出席者	委 員 小松原座長 遊津副座長、井上委員、岡野委員、小嶋委員、清水委員、西岡委員、吉川委員【計8人出席】
	事務局 環境部 大西参事 環境政策課 新井課長、油谷課長補佐、杉本係長、弘係長、吉留主務補
開催形態	公開（傍聴希望なし）
担 当 課	環境部環境政策課
議事の内容	
<p>1. 平成25年度（平成24年度実績）評価の取りまとめ（案）について</p> <p>「奈良市環境基本計画（改訂版）」掲載の各施策に関する平成24年度実績に対して、委員から評価いただいた結果の取りまとめ結果について報告。各委員から提出された意見の内容と、その集約案を提示し、審議の上、承認を得たい。審議に先立ち、生活環境分野（シートNo. 13～17）について、指標に関連する施策の内容説明を行った。</p> <p>1 3. 光化学オキシダント環境基準の達成率</p> <p>市内5局の大気汚染測定局でPM2.5や光化学オキシダントの常時監視をしている。光化学オキシダントは環境基準を超過している。オキシダントの発生源は、工場等の固定発生源と、自動車等の移動発生源がある。工場等には、ばい煙発生施設等があれば届出の義務があり、必要に応じて立入指導等行っている。濃度が高くなった場合は、緊急連絡体制を基に、学校等に連絡している。</p> <p>この指標は、年間の測定結果に対する達成率で評価しているため、単年度の結果での評価がふさわしいと考えている。</p> <p>1 4. 騒音規制法・振動規制法に基づく特定施設の立入調査</p> <p>工場・事業場について、騒音・振動を発生する特定施設の届出の義務があり、必要に応じて立入調査している。一般環境騒音・自動車騒音については、業者委託による測定を実施している。指標に上げている調査件数については、27年度に全施設を一巡する予定である。評価については、累積数を評価していただくのがふさわしいと考えている。</p> <p>1 5. 市内河川のBOD環境基準達成率</p> <p>河川等の公共水域の水質測定についての指標である。BOD上昇の原因については、事業場排水と生活排水が挙げられる。本市の調査では、生活排水による影響が大きいという状況である。その他の市の取組としては、水質汚濁防止法に基づく届出を受けた事業場の立入調査を行っている。年間の測定結果に対する評価となるため、単年度評価がふさわしいと考えている。</p>	

16. ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の立入調査 及び 17. 事業者によるダイオキシン類測定 of 徹底

ダイオキシン類の対策については、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般環境中（大気、水質、土壌）の濃度測定のほか、特定施設の設置届出を受けた事業場への立入や、特定施設設置事業者は排ガス等のダイオキシン類濃度測定義務があるので、その結果報告・公表に関する事務を行っている。立入調査の実績については累積評価、事業者のダイオキシン類濃度測定については単年評価がふさわしいと考えている。

【質疑・意見の要旨】

○生活環境分野の施策に関して

- ・ダイオキシン類関連施策で、予算が計上されているのに事業者への立入調査を実施していないと
思っていたが。
→予算に計上されているのは環境測定に関する予算である。市が一般環境（大気、水質、土壌）
中のダイオキシン類濃度測定を実施している。24年度は、放射線量の測定に時間を費やしてい
たので立入調査ができなかった部分もある。
- ・実績の評価方法等について。単年実績で見ると、累積の実績で見るとかを指標ごとにわかる形
で示してほしい。また、現状分析はいつの時点での評価になるのか。
→現状分析は24年度の内容に対する分析である。
- ・前回の会議でも議論になっていたが、単年度の目標を入れられないか。単年度実績の評価がふさ
わしい指標であれば、単年度目標を入れないと。
→最終目標へ積み上げていく指標と、単年度ごとの評価が適している指標が混在しているので、
評価方法について会議内で検討してもらえれば。
- ・事業者が順守すべきことに関して、市の税金は使ってほしくないという思いもある。法律だけで
なく、条例による上乘せ規制も考えてほしい。また、環境の現状に対しての市の原因分析や取組
を示してもらえれば。
→河川水質の基準未達成の原因に関しては、市内の水量が少ない、浄化槽排水の流入、雨天時の
合流式下水道の越流などがあげられる。取組としては、河川の改良工事や、2月の水質改善強化
月間に啓発活動の実施等がある。

○取りまとめ案に対して

1. 市域の温室効果ガス排出量

⇒取りまとめ案について承認。

2. 奈良市の事務及び事業における温室効果ガス排出量

- ・市は削減目標値を見直すのか。
→震災以降、原発稼働停止により、火力等の割合が上がっている。今後の原発稼働に関する国の
判断によっては、見直す必要も出てくると思う。
→数値、パーセンテージにこだわるよりも、排出量削減に向けた行動の中身が重要であり、具体
的に進めていくことが大切。

⇒取りまとめ案について承認

- ・この指標以外でも構わないが、これはちょっと、といったような意見があったか？
→委員間での意見のばらつきは特になかったという印象である。
- 他に気になった点についてであるが、今回評価対象としていない No. 23 住宅の耐震化率について、環境基本計画に示している数値は文献に基づく計算結果となっており、実態を反映した結果になっていないと思われる。また、耐震化率を公表していないため、評価対象にしていない。しかしながら、市として耐震化を進めていないというわけではない。
- ・今回評価した結果については、関係各課へ報告するという事なので、今後の施策展開に反映されるよう期待する。

3. LED街路灯の導入

→奈良市の街路灯のうち、水銀灯は約4,000灯である。まずは水銀灯をLED化している。指標と関連の施策として、商店街のLED化も進めている。市内は費用面からLED化していないが、省エネタイプの蛍光灯を使っている。

⇒取りまとめ案について承認

4. 家庭用太陽光発電の設置割合

- ・一戸建てのほか、マンション等についてはどうなのか。

→予算執行留保のため、平成25年度の補助事業は実際には行っていない。共同住宅については、管理や転居等での扱いが難しい。今後は補助とは別の形での普及推進方法を検討している。

⇒取りまとめ案について承認

6. 人工林における間伐の施業面積

→状況としては、やや仕方ない部分もある。実施している地域も細々と続けている状況である。

- ・経営意欲の低下に対する対策を考える必要がある。需要の喚起を促さないと。

⇒取りまとめ案について承認

7. 市民ふれあい交流事業（ミニ直売所）

→直売所のほかに、本庁舎前でイベント（彩マーケット）も実施しているが、補助事業を受けたものを件数に挙げているため、今回の実績には含まれていない。自主的に市場を設けている地域もある。それらも件数に含めれば、実績としては上がる。

- ・挙げられたような取組も含めた目標の再設定や、取組を検討してもらえれば。

⇒取りまとめ案について承認

8. 農業地域と市街地との交流参加者数

→80人というのは、イベントの参加人数（定員）である。交流の継続に関する展開・調査等は難しい面もある。農業に関心を持ってもらう方法について検討している東部地域もある。

⇒取りまとめ結果について承認

9. 奈良県産学校給食食材地産地消率

- ・地産地消率を上げるには、コスト面、供給量面で問題がある。コストをかけるだけであげられるのか。

→給食を導入する学校が増えることで、率としては下がる可能性がある。

- ・合併前の月ヶ瀬村では率が高かった。合併により市域が広がったことで率が下がってしまった。
- ・率だけではなく、量的な面で増加していれば、それを示していけばよいと思う。
- ・課題にある関係団体との調整とは。

→学校給食会であると思われる。26年度からはその形ではなく、直接になるとのこと。ただ、詳しい者がいなくなるという問題も出てくると思う。

- ・手本となるような自治体（今治市）の取り組みを参考にしては。

⇒取りまとめ結果について承認

10. 補助の利用率（都市景観形成地区建造物保全整備費）

→住民の高齢化や、物件の老朽化など、複数の問題がある状況もある。特区制度を設けて、利用しやすくするなど、ならまち境界のありかたをどうしていくかを検討していく時期に来ている。

- ・環境との接点をどうしていくかが難しい事業であると思う。

⇒取りまとめ結果について承認

11. なら工芸館入館者数

- ・アピールはどこでやっているのか

→観光センターで案内等している。

- ・入館者数を指標とするなら、集客対象も考える必要がある。

⇒取りまとめ結果について承認

12. 奈良伝統工芸後継者育成研修修了者数

→若手が一人前になるには、弟子入りして修行する必要もあり、数十年の時間がかかる。

⇒取りまとめ結果について承認

13. 光化学オキシダント環境基準の達成率 から 17. 事業者によるダイオキシン類測定の徹底

⇒先ほどの説明を基にし、取りまとめについて承認

次回会議では18以降の指標について審議を続けることとする。

次回会議日程

2月3日（月）午後の実施で、詳細については事務局から連絡する。

2. 「奈良市の環境」平成24年版の発行について（報告）

【事務連絡】

・過日郵送した、平成25年度第1回会議でまとまった集約案を掲載し、完成となった「奈良市の環境」の発行を報告。